

学習内容報告書 フォーマット

学校名	玉野市立玉原小学校
授業者	沖 帆乃香

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

環境問題について調べよう。(渋川海岸の環境について調べよう)

1-2. 学年

5年

1-3. 教科 (単元を実施する教科を全てお書きください)

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

玉野市は海に面している。その利点を生かして、5年生では、海に関する環境学習を令和2年度から始めている。

令和2年度単元開発した「海洋生物学習」を踏まえ、児童自ら海洋生物を採集するという体験活動を取り入れ、その解説を専門家から直接聞くという活動を実施し、児童の活動が豊かなになった。今年度も地域及び外部指導者からの協力を得て環境問題について考え、それを地域の環境について学習している下学年である3年生や自分たちの保護者に伝えるよう設定し、伝える相手を意識しながら学習成果を高めていく内容となるよう、企画した。

1-5 単元設定の理由・ねらい

単元設定の理由

・本校は、身近に美しい瀬戸内海が広がる恵まれた環境であるが、なかなか児童がそのすばらしさや人々が環境整備に努力していることなどをよく知らない現状がある。そこで、5年生で行う海の学習を良い機会とし、実際に渋川海岸にすむ生き物を調べる体験活動を通して、あらためて地域の環境保全について考えさせたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

1 粘り強く課題を解決する力

・自然との関わりの中から、課題を見つけ出し、G T (外部講師) に質問したり、資料に基づいて調べたりしながら、友達と協力して解決しようとする。

2 図書資料を使ったり、クロームブックを活用したりしながら、調べたことを分かりやすくまとめ、友達や下級生に伝えようとする力

1-7. 単元の展開 (全 10 時間)

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1時間	「海について考えよう」 1 「海」について、何を思い浮かべますか。 2 海の写真を見て何を感じましたか。 3 音を聞いて何を感じましたか。 4 今日の感想	<u>教師の指導</u> ・プレゼン資料 (美しい海の写真やイルカの様子) により、海の美しさのイメージを豊かにしていった。 ・海の音 (波の音) を聞かせて、児童に新たな海のイメージを膨らませた。 <u>主な評価</u> (知識、思考) 児童のワークシート記入内容で評価
1時間	「汚れた海について考えよう」 1 汚れた海の写真を見て何を感じましたか。 2 みんなの身近な玉野の海、渋川はどんな様子だろう。 → 予想 3 今日の感想	<u>主な評価</u> (知識・技能) ・渋川の海について、様々なイメージが出てきた。前時 (美しい海) のようなイメージを持つ児童は少なかった。 実際に渋川に行くことについて、児童に期待感が持てるようにした。
3時間	「海の学習事前学習」 海洋生物について 図書館で調べたり、クロームブックを使ったりしながら、海洋生物について調べる。	<u>教師の指導</u> ・渋川海岸にすんでいる生物を調べることで、水質や生物環境がわかることを伝える。 ・指標となる生物について確認する。 ・安全に体験活動を行うための約束を確認する。
4時間	「海の学習」 海洋生物学習 渋川海岸の干潟の生物を調べよう。	<u>外部連携</u> ・渋川海事研修所 ・アスエコ (海の環境学習支援団体) ・たまはら地域学校協働本部 単元中のキー、詳細は別紙のとおり
1時間	「海の学習を終えて」 (振り返り) 1 友達のこと 2 自分のこと 3 学習のこと 4 これからのこと 5 海洋生物学習について伝えたいこと	<u>主な評価</u> (主体的な学び) ワークシートの内容、1 友達のこと ~ 4 これからのことについては、キャリア教育でのふりかえりと同じ項目としている。

※海洋生物学習で学び、疑問や気になったことから2学期のテーマを決めていくため、1・2学期で学んだことをまとめて発表していく形とする。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- ① 澁川海岸の自然に親しみ、海や干潟の生き物の多様性や生態系に関心を持つ。
- ② 採集した生き物について、事前学習や資料をもとに調べたり、外部講師の話を聞いて環境と関連づけたり確認したりする。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1 干潟の学習で、気をつけることや道具の使い方について説明を聞く。	○事前学習で確認した安全に体験活動を行うための留意事項について確認する。
2 班に分かれて、干潟の生き物を採集する。 ／児童は、時間いっぱい生き物採集に夢中で取り組んでいた。体験学習を一人一人とても楽しんでいった。	○児童 18 名、引率教員 3 名（教頭、担任 1 名、サポートスタッフ）外部講師 1 名、地域ボランティア 6 名で児童への指導支援と安全管理について役割分担した上で運動した指導・支援を行う。／担任 1 人、サポートスタッフで児童の活動をよく観察する。教頭は全体に注視しながら、活動記録写真を撮影する。目標①の評価、行動観察及び記録写真確認による評価
3 ビジターハウスに戻り、採集した生き物について、まずは、資料を用いながら班ごとに調べる。 アスエコの松本さんからの資料をもとに、友達と意見交流しながら、積極的に学習に参加していた。	○危険な生物が含まれていることを想定し、巡回指導しながら指導・支援を行う。／目標②の評価、行動観察による評価
4 アスエコの松本さんからの説明を聞いたり、質問したりする。	○本日の活動のまとめとアスエコ松本さんからの提供資料「瀬戸内海の海岸生物調査マニュアル」に基づき、指標生物の数による水質評価について外部講師岡館長さんからの説明を聞きまとめとする。

3. 今回の活動の自己評価

・干潟の生き物を実際に採集し、外部講師から説明を受け、児童たちの満足感、達成感が感じられた。

事前に、外部講師として活動の専門家を招いたり、地域コーディネーターの小林さんを通じ、ボランティアによる安全管理ができる環境づくりを行ったりした。学校だけではなく、地域と協働で活動を計画することにより、教育活動が大変豊かになり、成果として、全員の児童が自分から進んで活動ができ、自然に親しみながら活動を楽しむことができていた。

今回採集した指標生物による渋川海岸の水質は、「きれいである」と評価されたときに児童は地元の海の良さを改めて喜んでいた。一方で、実際に渋川に行くと、タバコなどのゴミや漂流物に気づき、渋川の周りの環境はきれいなのか新しい疑問を持った。

振り返りシートでは、網を使って海洋生物を採集したり、自然に親しむことができたりするなど、普段とは違うフィールドワークに喜んでいた。前年度とはまた違う体験ができており、次年度以降についても継続していきたいと考えている。

4. 今後の課題

・昨年度の課題として、事前の打ち合わせと下見準備などスケジュール調整がスムーズにできるよう資料を残しておくことが挙げられた。今年度は昨年度の5年担任がいたため、スムーズに引継ぎができ、困ることは無かった。今後、継続していくうえでも、資料を残していくことが必要である。

・当日の天候や潮については事前に調査し、外部講師と相談しながら、一番望ましい状態で実施することができた。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

・特になし

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端20mm、左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。

マットの指定はありません。

海辺の生物を探そう



事後学習（アスエコ松本さんからの説明）

